

2019年度事業報告

I. 研究発表会, 講演会等の開催

1. 学術大会

(1) 日本心理学会第83回大会

期日：2019年9月11日(水)―13日(金)

会場：立命館大学大阪いばらきキャンパス (OIC)

大会会長：佐藤 隆夫 (立命館大学教授)

(2) プレコンベンション学術交流会

期日：2019年9月10日(火)

2. 公開シンポジウム

(1) 「社会のための心理学」シリーズ

(a) 高次脳機能障害の実際と心理学の役割<全2回>

第1回 期日：10月6日(日)

会場：東京大学駒場キャンパス

第2回 期日：11月10日(日)

会場：金沢大学サテライトプラザ

(b) 高等学校への心理学教育の導入をめぐる<全2回>

第1回 期日：9月12日(木) (第83回大会時)

会場：立命館大学大阪いばらきキャンパス (OIC)

第2回 期日：12月7日(土)

会場：慶應義塾大学三田キャンパス

(2) 「科学としての心理学」シリーズ

(a) 自閉スペクトラムの科学的支援にむけて<全2回>

第1回 期日：10月27日(日)

会場：青山学院大学青山キャンパス

第2回 期日：2020年2月23日(日)中止・延期

会場：京都教育文化センター

(3) 高校生のための心理学講座

全国14か所 (八戸学院大学(8月25日)・宮城学院女子大学(9月8日)・新潟大学(9月29日)・帝京科学大学(8月26日)・静岡大学・常葉大学(11月17日)・愛知大学(9月21日)・金沢工業大学・金沢大学(8月25日)・大阪大学(11月23日)・神戸学院大学(8月9日)・岡山大学(9月23日)・広島国際大学(8月10日)・聖カタリナ大学(10月5日)・別府大学(9月8日)・熊本大学(11月17日))

3. 第83回大会時日本心理学会企画シンポジウム等

(1) 若手のワンショット発表会と学部生・高校生プレゼンバトル(企画：若手の会)

(2) 災害復興と心理学(企画：東日本大震災復興支援特別委員会)

(3) 高等学校への心理学教育の導入をめぐる

(企画：教育研究委員会高校心理学教育小委員会)

(4) 女性研究者のキャリア形成(企画：男女共同参画推進委員会)

(5) 若手心理学者の活躍する場——国立の研究機関から民間企業等の新しい活躍の場まで——(企画：若手の会)

(6) 社会連携セクション(企画：認定心理士の会)

- (7) 「留学生ネットワーク」の活用を考える (ICP記念事業)
- (8) 若手のための進路相談会(企画：若手の会)
- (9) 女性研究者ネットワークイベント(企画：男女共同参画推進委員会)
- (10) Society 5.0を推進するシチズン・サイエンス ——シチズン・サイコロジストによる社会課題解決を目指して——(企画：認定心理士の会)
- (11) 論文投稿への道 2019(企画：機関誌等編集委員会心理学研究編集小委員会)
- (12) 公認心理師の大学・大学院での養成をどのようにすべきか

4. 認定心理士の会企画シンポジウム等

東海支部会シンポジウム

職場のメンタルヘルス

6月15日(土) 愛知淑徳大学

関東支部会第1回公開セミナー

職場・学校：クレームとどのように向き合うか
——カスタマーハラスメント等を考える！——

7月6日(土) 東洋大学

北陸支部会公開講演会 in 福井

注意と不注意の心理学——ヒューマンエラーを減らすには——

7月13日(土) 仁愛大学

東北支部会シンポジウム

マクロな公正／ミクロな公正——社会と組織の公正について考える——

8月8日(木) 東北学院大学

東北支部会特別講演

脳とこころを健やかに生きるには——脳科学と心理学の最前線からの提言——

8月9日(金) 東北学院大学

九州・沖縄支部会シンポジウム

才能とは何か——科学が明かすパフォーマンスの秘密——

8月10日(土) JR博多シティ

認定心理士の会「サイエンス・カフェ」

9月13日(金) 立命館大学

認定心理士の会シンポジウム

Society 5.0を推進するシチズン・サイエンス—シチズン・サイコロジストによる社会課題解決を目指して

9月13日(金) 立命館大学

北海道支部会シンポジウム

社会関係を実証する心理学

10月6日(日) 大雪クリスタルホール

関東支部会シンポジウム

「超高齢化社会」における心理学の貢献——高齢者の人生と家族のあり方を考える——

10月6日(日) 東洋大学

関東支部会シンポジウム

「意識と行動のサイエンス」——心理学は人間をどこまで理解できるか——

11月9日(土) 高千穂大学

北陸支部会公開講演会 in 富山

発達早期の社会的認知

12月8日（日） 富山大学

東北支部会シンポジウム

犯罪に挑む心理学

12月21日（土） 東北福祉大学

中国・四国支部会シンポジウム

ワーキングメモリからみた発達障がいと児童生徒の学習支援

2月15日（土） 広島大学

~~北陸支部公開講演会 in 石川 中止~~

~~学習と行動の原理から人間行動を見つめ直す~~

~~3月14日（土） ITビジネスプラザ武蔵~~

~~近畿支部会シンポジウム 中止~~

~~SNS等の功罪を心理学から考える~~

~~3月14日（土） 立命館大学大阪~~

<Net de 交流！認定心理士>

4月20日（土）第7回 生後の環境が個体の学習機能，社会性に与える影響と性差

6月24日（月）第8回 脳科学からみた発達障害とこれからの心理学

8月3日（土）第9回 他人の立場に立って考えることの脳科学

10月26日（土）第10回 人とかかわる仕事の感情的側面

12月7日（土）第11回 コミュニケーション力について考える

2月22日（土）第12回 こんな研究したいけど大丈夫？心理学研究倫理“再”入門

3月23日（月）日本心理学会 第83回大会 社会連携セッション ポスター発表

オンライン再現イベント（第1回）

「認定心理士の資格をもつ医療職が学校現場で活動することの意義」

II. 学会誌，研究報告書及びその他の資料の刊行

1. 「心理学研究」第90巻第1号—第6号

2. “Japanese Psychological Research” Vol. 61, No. 2-No. 4 (No. 2-3) & Vol. 62, No. 1

3. 「心理学ワールド」第85号—第88号

4. 「心理学叢書」の刊行

紛争と和解を考える——集団の心理と行動（日本心理学会 監修 大淵 憲一 編）

8月30日刊行

アニメーションの心理学（日本心理学会 監修 横田 正夫 編）9月15日刊行

III. 研究及び調査の実施

1. 大学の心理学教育に関する調査・研究

大学における心理学教育調査（第2回）9月30日締め切り，2月29日集計報告

2. 会員及び認定心理士への調査

第83回大会終了後に，全学会員ならびに非会員事前予約参加申し込み者を対象に，大会に関するアンケート調査を実施した。調査結果は，学会HPに掲載した。

3. 心理学の歴史的資料の保存・調査

文教大学の古典的実験機器類の撮影資料を作成している。

4. オーラルヒストリーの収集
名誉会員のオーラルヒストリーを心理学ミュージアムで公開した。
5. シチズン・サイエンスプロジェクト(認定心理士の会企画)
6. 大会論文集J-Stage搭載
第79, 81, 82回大会発表論文集をJ-Stageに掲載した。

IV. 国内の学術団体との学術研究協力

1. 日本学術会議
公開シンポジウム「高次脳機能障害の実際と心理学の役割」を日本学術会議 心理学・教育学委員会 健康・医療と心理学分科会と共催した。
日本学術会議総合工学委員会主催「安全工学シンポジウム2018」を共催した。
2. 日本心理学諸学会連合
本会から3名、理事として参加している。
会費および認定心理士承認料を支払った。
3. 日本脳科学関連学会連合
本会から3名、評議員として参加している。
会費を支払った。
4. 人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会 (GEAHSS:ギース)
会費を支払った。
5. 公認心理師養成大学教員連絡協議会
後援し、資格制度調整委員会を中心として運営している。(→VII-4)
公認心理師の養成カリキュラムと実習についての調査を実施した。
公認心理師大学院カリキュラム 標準シラバスを作成した。
6. その他団体等との協力
公認心理師の会
医療保健福祉領域公認心理師推進協議会

V. 国際的な学術研究協力

1. 国際心理科学連合 (IUPsyS)
会費を支払った。
2. 国際テスト委員会 (ITC)
会費を支払った。
3. 国際応用心理学会 (IAAP)
4. 各国心理学会との研究協力
以下MOU締結団体と協力協定に基づき、連絡協力を行った。
MOU締結団体(締結順)
Chinese Psychological Society (CHN)
Korean Psychological Association (KOR)
Australian Psychological Society (AUS)
Psychological Society of South Africa (ZAF)
Taiwanese Psychological Association (TWN)
American Psychological Association (USA)
Malaysian Psychological Association (MYS)

Swedish Psychological Association (SWE)
British Psychological Society (GBR)
Psychological Association of the Philippines (PHL)
Indonesian Psychology Association (IDN)
Russian Psychological Society (RUS)
National Academy of Psychology, India (IND)
Singapore Psychological Society (SGP)

5. 日中韓シンポジウム

日中韓三か国シンポジウム（9月26日，中国・天津師範大学）を開催し，発表者を派遣した。

6. Asia-Pacific Psychology Meeting

8月1日に第1回がPenang, Malaysiaで開催され，担当常務理事を派遣した。

VI. 研究の奨励及び研究業績の表彰

1. 公益社団法人日本心理学会優秀論文賞の選考・授与

2018年度刊行の「心理学研究」掲載の原著論文，研究資料，および“Japanese Psychological Research”掲載のOriginal Articleのうちから選考委員会において授賞論文を決定した。プレコンベンション学術交流会時に授与式を行った。

<優秀論文賞>

(1) 親密な関係破綻後のストーカー的行為のリスク要因に関する尺度作成とその予測力
金政 祐司（追手門学院大学）・荒井 崇史（東北大学）・島田 貴仁（科学警察研究所）・石田 仁（(公財)日工組社会安全研究財団）・山本 功（淑徳大学）

（心理学研究 第89巻第2号）

(2) 漢字の形態情報が共感覚色の数に与える影響

宇野 究人（東京大学）・浅野 倫子（立教大学）・横澤 一彦（東京大学）

（心理学研究 第89巻第6号）

(3) Hypoactivation of the Right Prefrontal Cortex Underlying Motor - Related Inhibitory Deficits in Children with Autism Spectrum Disorder: A Functional Near - Infrared Spectroscopy Study

池田 尚広（自治医科大学）・徳田 竜也（中央大学）・門田 行史・平井 真洋（自治医科大学）・水島 栄（中央大学）・長嶋 雅子（自治医科大学）・久徳 康史（中央大学）・谷口 敬道・下泉 秀夫（国際医療福祉大学）・檀 一平太（中央大学）・山形 崇倫（自治医科大学）

（Japanese Psychological Research Vol.60, No.4）

(4) Cheering Enhances Inter - Brain Synchronization Between Sensorimotor Areas of Player and Observer

小出 允善・嶋田 総太郎（明治大学）

（Japanese Psychological Research Vol.60, No.4）

2. 公益社団法人日本心理学会国際賞の選考・授与

国際賞選考委員会にて，国際賞授賞者を選考した。プレコンベンション学術交流会時に授与式を行った。

<特別賞> 室伏 靖子

<功労賞> 長谷川 壽一 ((独行) 大学改革支援・学位授与機構)
太田 信夫 (筑波大学 名誉教授/東京福祉大学 教授)

<奨励賞> 荒川 礼行 (University of Maryland Baltimore)
平井 真洋 (自治医科大学)
伊村 知子 (日本女子大学)
小野 史典 (山口大学)
吉江 路子 ((国研) 産業技術総合研究所)

3. 公益社団法人日本心理学会学術大会優秀発表賞の選考・授与

第82回大会において、全ポスター発表を対象に、理事および理事から推薦のあった者を審査者として、学術大会優秀発表賞の投票を行い、10件に特別優秀発表賞、26件に優秀発表賞を授賞することを決定した。第83回大会プレコンベンション学術交流会時に授与式を行った。

第83回大会において、全ポスター発表を対象に、理事・学術大会委員とその推薦のあった者を審査者として、学術大会優秀発表賞の投票を行い、15件に特別優秀発表賞、35件に優秀発表賞を授賞することを決定した。第84回大会プレコンベンション学術交流会時に授与式を行う (予定)。

4. 公益社団法人日本心理学会心理学ミュージアム作品賞の選考・授与

心理学ミュージアム展示室に掲載する作品を公募し、応募作品から優秀作品賞授賞作品を選考した。プレコンベンション学術交流会時に授与式を行った。

<最優秀作品賞>

他人のためにお金を使う方が幸せになる——向社会的支出と幸福感——

竹部 成崇 (一橋大学)

<優秀作品賞>

嘘つきは目をそらす? 嘘にまつわる神話

佐藤 拓 (明星大学)

5. シチズン・サイコロジスト奨励賞の選考・授与(認定心理士の会企画)

人々の心の健康と福祉の増進に寄与する認定心理士を顕彰することにより、社会への心理学の普及をより一層促進させるため、応募の中からシチズン・サイコロジスト奨励賞を選考した。プレコンベンション学術交流会時に授与式を行った。

<シチズン・サイコロジスト奨励賞>

(1) 池田 琴世

(2) アスペ・発達凸凹の集い「優しい時間」

6. 研究集会等への支援

30件の研究会へ助成を行った。

7. 国際会議参加者への旅費補助

27名の国際会議参加者への旅費補助を行った。

8. 災害からの復興のための実践活動及び研究の助成

第4回「災害からの復興のための実践活動及び研究」を公募し、3件に助成を行った。

また、台風19号等による災害に対応し、1件に追加助成を行った。

9. 若手の会

2019年3月31日現在の会員数は、202名であった。

ニューズレター(第4巻1号)を発行した。

コラムリレー第52回—第64回を若手の会ホームページに掲載した。

異分野間協働懇話会の開催 中止
第83回大会時企画（I-3-(1)(5)(8)）

VII. 資格認定及び研修

1. 公益社団法人日本心理学会認定心理士資格の審査と授与
2020年3月31日現在までに、総件数3,625件（うち電子申請1459件）を審査し、3,458名を合格、48名を不合格、119名を保留とした。
必要な手続を経て資格を取得した者は3,417名であった。
2. 公益社団法人日本心理学会認定心理士（心理調査）資格の審査と授与
2020年3月31日現在までに、総件数84件を審査し、55名を合格、1名を不合格、28名を保留とした。
必要な手続を経て、認定心理士資格と同時に資格を取得した者は53名であった。
3. 教科書等の刊行
4. 認定心理士資格と公認心理師資格の調整
資格制度調整委員会および公認心理師養成大学教員連絡協議会の活動を行っている。
公認心理師の養成カリキュラムと実習についての調査を実施した。
公認心理師大学院カリキュラム 標準シラバスを作成した。
5. 認定心理士の会
2020年3月31日現在の会員数：4,356名
企画セミナー・シンポジウム→I-4
シチズン・サイコロジスト奨励賞選考→IV-5
シチズン・サイエンスプロジェクト→III-5
サイエンス・カフェ 9月13日（金）
6. 講演会・シンポジウム・研修会
→I-2, 3, 4

VIII. その他目的を達成するために必要な事業

1. 心理学の普及・啓発のための広報活動
日本心理学会ホームページ、会員メール、Twitter、Facebookによる広報活動を行った。
Webで「心理学ミュージアム」を更新した。
2. 倫理規程の継続的な検討・倫理問題の解決
倫理委員会にて問題を検討し対処した。
3. 選挙の実施
(1) 理事長・常務理事選挙の実施
理事長・常務理事選挙を実施した。
4. 男女共同参画推進
男女共同参画推進委員会にて検討を行った。
第83回大会時企画（I-3-(4)(9)）
5. 高校心理学教育の検討
教育研究委員会 高校心理学教育小委員会にて検討を行った。
公開シンポジウム「高等学校への心理学教育の導入をめぐる」を開催した（I-2-(1) a）

6. その他

(1) 100周年記念事業(2027年度)

100周年記念事業を企画した。

(2) ICP2016記念事業(国際委員会企画)→1-3-(7)

(3) 認定心理士30周年記念事業(2020年度)の企画

認定心理士30周年記念事業を企画した。

(4) 部門・部会制の検討

(5) COVID-19対応

アメリカ心理学会 (APA) 公式Web サイトに掲載された, 新型コロナウイルス(COVID-19)に関する記事を, アメリカ心理学会の許諾を得て日本語に翻訳し, HPに掲載した。

以上